

# カーボンプラスコート

珪藻土配合

吸湿・放湿  
断熱・吸臭

樹脂系中性

白華(エフロ)防止

一材型

炭素繊維配合

壁の強度UP  
ひび割れ防止

アク・シミ・サビ止め剤配合

アク・シミ・サビ止め効果

コテ切れ抜群  
工期短縮

適応下地

- 石膏ボード ●石膏プaster
- 完全乾燥させたセメントモルタル
- 合板 ●中塗土 ●古壁

適応仕上材

- 漆喰 ●砂壁 ●聚楽壁 ●繊維壁
- 珪藻土(樹脂系・薄塗り)



10kg 2袋/ケース 3.5kg 6袋/ケース

## 練り方

- ① セメントや石膏の残材が付着していないきれいな練り容器に標準加水量の80%程度の水を用意して下さい。 ※標準加水量の80%程度 1袋/10kg:約4.1ℓ 1袋/3.5kg:約1.5ℓ
  - ② 本品を加え、ハンドミキサーでよく混ぜ合わせて下さい。
  - ③ 5～10分程度練り置きした後、残りの水を加え塗りに適した粘度に調節して下さい。
- ★目地詰めを使用される場合は標準加水量の約50～60%程度で混練りして下さい。

## 取扱上の注意

- 目や皮膚への直接の接触を防止する為に作業中は適切な作業衣及び保護具を着用して下さい。
- 作業後は手洗い及びうがいをこなして下さい。
- 皮膚に付着した場合は多量の水及び石鹼にて洗い流して下さい。万一異常を感じた場合は速やかに医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は多量の水と共に吐き出し、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 容器からこぼれた場合は速やかに清掃し、産業廃棄物として処理して下さい。
- 漏出した材料や残材は下水、河川、湖沼、地下水及び海洋を汚染する恐れのある場所には絶対に廃棄しないで下さい。
- 本製品の容器及び残材の処理は産業廃棄物処理業者に依頼して下さい。

主成分	珪藻土、炭素繊維、ゼオライト、粉末樹脂	
正味質量	10kg	3.5kg
標準加水量	5.1ℓ	1.8ℓ
標準所要量	約10㎡	約3.5㎡
標準塗り厚	1～1.2mm	
梱包	2袋/ケース	6袋/ケース

※詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。  
 ※本カタログの記載内容は、製品改良等により断りなく仕様変更する場合がございます。  
 予めご了承下さい。  
 ※カタログの記載値は、標準値であり保証値ではございません。

# 3ステップ工法

1

ワンツ

## 目地処理

コテ先で固練りしたカーボンプラスコートを目地部に充分詰め、はみ出した部分は掻きとって平滑に仕上げてください。

※下地の汚れホコリ等をあらかじめ拭きとってから施工してください。

2

トゥー

## ファイバーグラスメッシュ貼付

目地部が完全に乾燥後、その上にファイバーグラスメッシュ(100mm又は50mm幅)を貼ってください。

オススメ!

### ファイバーグラスメッシュ

継目の補強、ひび割れ抑制を低コストで実現!



下地との一体化!  
抜群の耐久性!  
魅力の低コスト!  
優れた抵抗性!

3

スリー

## 全面下地調整

カーボンプラスコートを全面に1mm厚で塗付けてください。

カーボンプラスコート乾燥後、仕上材を施工してください。

## 施工上の注意

- 全面塗付後、24時間以上乾燥させてから、仕上材を施工してください。
- 石膏ボードの目地処理に使用する場合、Vカット部等、石膏が剥き出しになっている箇所はモルタルボンドの6~8倍希釈液を塗布し、水引調整をして下さい。
- 目地処理後、十分に乾燥させ痩せが発生していない事を確認後に全面塗りをして下さい。  
(追いかけて全面塗りをしますと目地部分が痩せる場合があります。)
- 下地の不陸やボードの段差がある場合はまず下塗りを行い、乾燥後再度全面に塗り重ねて調整して下さい。  
(一度に2mm以上の厚付けをしますと、垂れや著しい乾燥の遅れを招きますので絶対にしないで下さい。)
- 他の下地材、ボンド及び骨材は絶対に混ぜないで下さい。
- 一度混練りした材料に、新たに材料を追加した場合、炭素繊維の分散が悪くなる場合があります。十分に攪拌をしてから使用して下さい。
- 施工時及び乾燥養生中に気温又は室温が5℃以下になる恐れがある場合は施工を避けて下さい。
- 浴室及び脱衣場及び外装等、多湿箇所や風雨が当たる場所への施工は絶対に避けて下さい。
- 施工後は換気を良くし、乾燥を早めて下さい。換気不良などで乾燥が遅れた場合、アク・シミ・サビ止め効果が十分に発現しない場合があります。
- 古壁下地の場合、弱っている時はガードシーラーで古壁を強化してから施工して下さい。  
又、浮きや剥がれが発生している場合は必ず古壁を剥がしてから施工して下さい。
- 下地のアクやシミが激しい場合はガードシーラーを併用して下さい。  
※合板(特に赤味の強いもの)及び古壁のアク・シミが激しい場合はガードシーラーを併用して下さい。

### ガードシーラー



古壁の強化  
アク止め  
シミ止めに  
最適!



株式会社 シンコー

<http://www.shinko-kenzai.com>

本社 〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江4-32-11

TEL 06-6541-5755(代) FAX 06-6541-8797  
E-mail osaka@shinko-kenzai.com

東京支店 〒339-0027 埼玉県さいたま市岩槻区尾ヶ崎953

TEL 048-798-3255(代) FAX 048-798-5923

新潟営業所 〒942-0052 新潟県上越市上源入字ノ越377-1

TEL 025-543-3688 FAX 025-543-3689

仙台営業所 〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台2-17-18-101

TEL 022-295-1708 FAX 048-798-5923

工場 〒673-0023 兵庫県明石市西新町2-12-14

